

3. 事業コンセプト

大野城市の総合計画が具現化されたものが高架下周辺のまちづくりとなります。

第6次大野城市総合計画

未来をひらくにぎわいと やすらぎのコミュニティ都市

- ・地域と行政の共働による魅力輝くまちづくり
- ・未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちづくり
- ・誰もが自分らしくすこやかに生活できるまちづくり
- ・都市と自然が共生した安全で安心なまちづくり

市民とともに高架下の夢を描いてきた「基本計画(案)」を大事にしていきます。

大野城市高架下利用及び 市街地活性化基本計画(案)

大野城市の新しい顔・都市軸となる 空間の演出

市民・事業者・行政が共働で取り組む まちづくりの実現

- ① 駅・高架下空間とその周辺の「にぎわい」を創出しよう
- ② 高架下及びその周辺エリアで「憩い」、「日常利用」、「交流」の空間をつくろう
- ③ スムーズで快適な歩行者・自転車ネットワークを形成しよう
- ④ 高架下空間から大野城市の歴史・自然へのつながりを創出しよう

『未来をひらくにぎわいとやすらぎの コミュニティ都市を実現する高架下』

高架下空間が「にぎわい」と「やすらぎ」の軸となり
周辺地域に波及する
質の高い高架下空間がまちと呼応しあうことで
新たな価値を生み出していく



Quality
クオリティ



質の高い空間
・新たな空間や機能における高い「クオリティ」の確保

市民・行政・事業者のニーズを捉え、実現可能なまちづくり・事業を推進していきます。

ニーズ調査及びリーシング戦略

まちの顔

- ・大野城らしいまちのシンボル
- ・記憶に残る風景
- ・地元の熱い人たちとの連携
- ・求心力と発信力のある施設

質の高い空間

- ・暮らしに寄り添う、おしゃれ感
- ・居心地の良い、みんなの居場所
- ・パブリックとプライベートが相互作用する空間

ここでしかできない体験

- ・子供の記憶に残る場
- ・生活文化活動の向上
- ・多様なプレイヤーが交わり生み出されるアクティビティ

鉄道事業者とともに高架下周辺のまちづくりを展開していきます。

西日本鉄道 雑餉隈～下大利連立高架化活用検討

ウェルネス

- 【いきいきとした人をつくる】
歩道空間、ポケットパーク、フィットネスジム、ボルダリングジム等

モビリティ

- 【まちを循環させる】
カーシェアリング、シェアサイクル、コミュニティバス、次世代モビリティ、パーク&ライド等

コミュニティ

- 【にぎわい・交流をつくる】
複合商業施設、パブリックスペース、イベント広場、子育て・教育施設等



交流を育むまち

- ・地域住民も来訪者も利用しやすい憩いの場をつくる
- ・新たな交流や活動を生み出し、様々なイベントや活動でも利用できる多様性のある空間をつくる
- ・周辺地域との連携によって地域全体の活性化へとつなげる



学びを深めるまち

- ・高齢者の生涯学習や子育て世代の幼児教育など、多世代からなる市民の日々の学びを応援できる場をつくる
- ・市民の学びやチャレンジに利用できる場をつくる
- ・子どもたちが遊んだり、青少年が自由に活動できる場をつくる



移動が快適なまち

- ・鉄道の高架化に伴い新たな東西のつながりを創出する
- ・自転車を快適に利用できる場をつくる
- ・まちの回遊性を高める新たなモビリティ施策を展開する



歩くことを楽しむまち

- ・高架下空間を活用して沿線を歩きたくなる魅力をつくる
- ・自然や歴史などの地域資源をつなぎ、新たな人の動きを生み出す
- ・雨の日でも快適に歩ける空間をつくる



新たな文化を築くまち

- ・上記の4つの機能を充実させ、質の高い空間をつくっていくことで、これらが「大野城市の新たな Culture（文化）」が生まれる